

2020年3月期第3四半期 決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

2020年2月7日
証券コード 2813



市場環境

単身世帯の増加
女性の社会進出
少子高齢化

人手不足

健康志向
安全・安心

訪日外国人増加
インバウンド

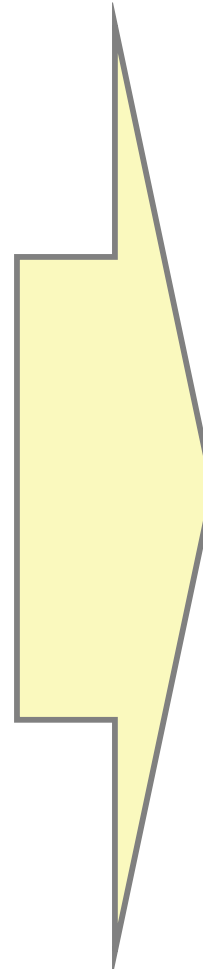
ビジネスチャンス

中食の拡大
食の外部化

調理の簡便化

食の多様化
高付加価値化

日本食・和食の
拡大・定着



ニッポンが誇る食ブランド“ラーメン”を世界へ



1. 2020年3月期 第3四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第3四半期 トピックス（参考）

1. 2020年3月期 第3四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第3四半期 トピックス（参考）

※ 業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=108.642円で計算しております。

● 連結業績

- ✓ 連結売上高は8,588百万円（前年同期比較 728百万円増収 +9.3%）
⇒国内売上高及び国外売上高は共に外食業界への販売が好調。
- ✓ 連結営業利益は282百万円（前年同期比較 66百万円増益 +30.5%）
⇒海外業績（北米）の改善が進み前年同期を上回る。

● 単体業績

- ✓ 国内売上高は7,796百万円（前年同期比較 529百万円増収 +7.3%）
⇒提案型営業の強化により外食、中食向け製品の売上が好調。
- ✓ 国内営業利益は301百万円（前年同期比較 28百万円増益 +10.3%）
⇒売上総利益の増加及び販管費率の減少に伴い利益率が向上。

● 海外業績（北米）

- ✓ 国外売上高（北米）は852百万円（前年同期比較 217百万円増収 +34.3%）
⇒日本食レストランからの採用件数が堅調に推移。
- ✓ 国外営業利益（北米）は△14百万円（前年同期比較 43百万円増益）
⇒売上高増に伴い稼働率が向上、営業利益の改善が進む。

(単位：千円)	2019年3月期第3Q		2020年3月期第3Q	
	実績	実績	前年同期増減比較	
			金額	増減率
売上高	7,860,118	8,588,681	728,563	9.3%
売上原価	5,975,189	6,492,013	516,824	8.6%
売上総利益	1,884,928	2,096,667	211,739	11.2%
販売管理費	1,668,379	1,814,115	145,736	8.7%
営業利益	216,549	282,552	66,002	30.5%
経常利益	241,497	288,652	47,155	19.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	137,416	185,410	47,994	34.9%
EPS	167.85円	226.47円	58.62円	34.9%
総資産	8,695,735	9,176,922	481,186	5.5%
純資産	4,056,149	4,189,662	133,512	3.3%

予想達成率

売上高

79.0%

営業利益

89.1%



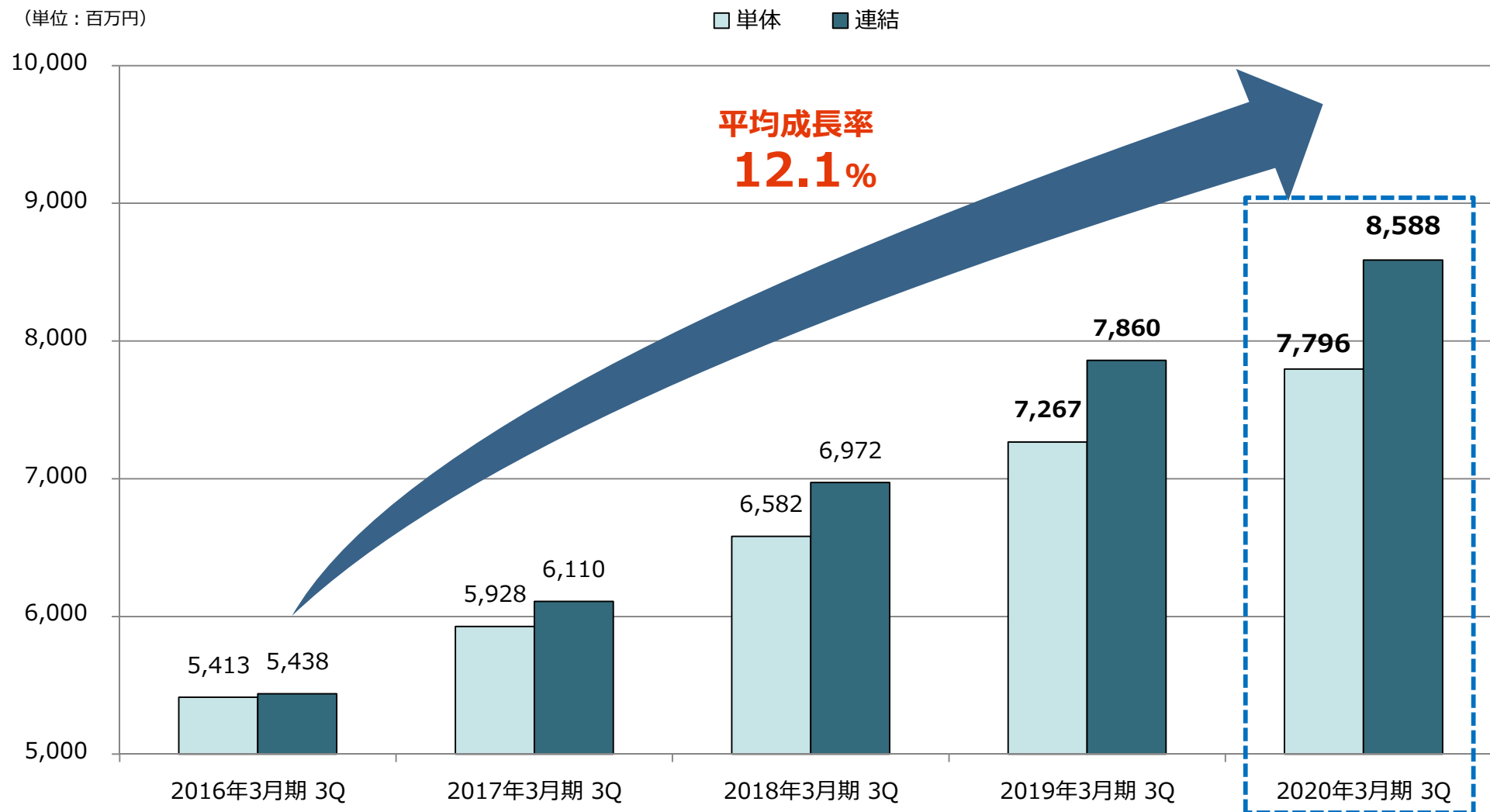
【好調理由】

- ①国内・国外共に外食市場向けの業務用調味料の販売が好調を継続。
- ②WAKOU USA INC.の業績改善が進み売上総利益、営業利益が改善。

※ 予算達成率については季節的な影響（事業の性質上、第2四半期及び第3四半に売上高が集中する傾向がございます。）を含んでおります。

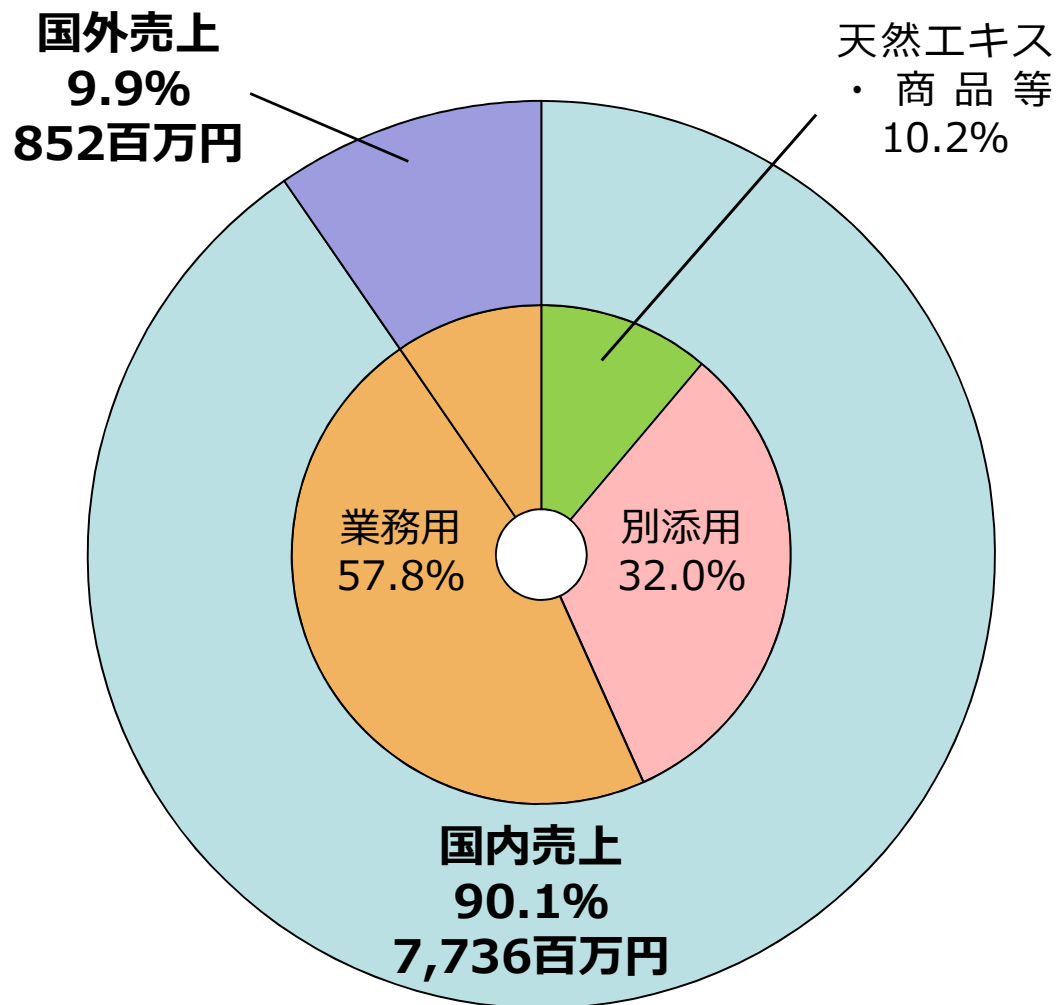
売上高推移（単体・連結）

国内・国外共に外食業界への売上が好調に推移、連結売上高は前年同期比較 728百万円増（9.3%増）



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

連結売上高は業務用製品が牽引（前年同期比：業務用11.1%増、別添用4.0%増、天然エキス・商品等17.1%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。
本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしております。

業務用



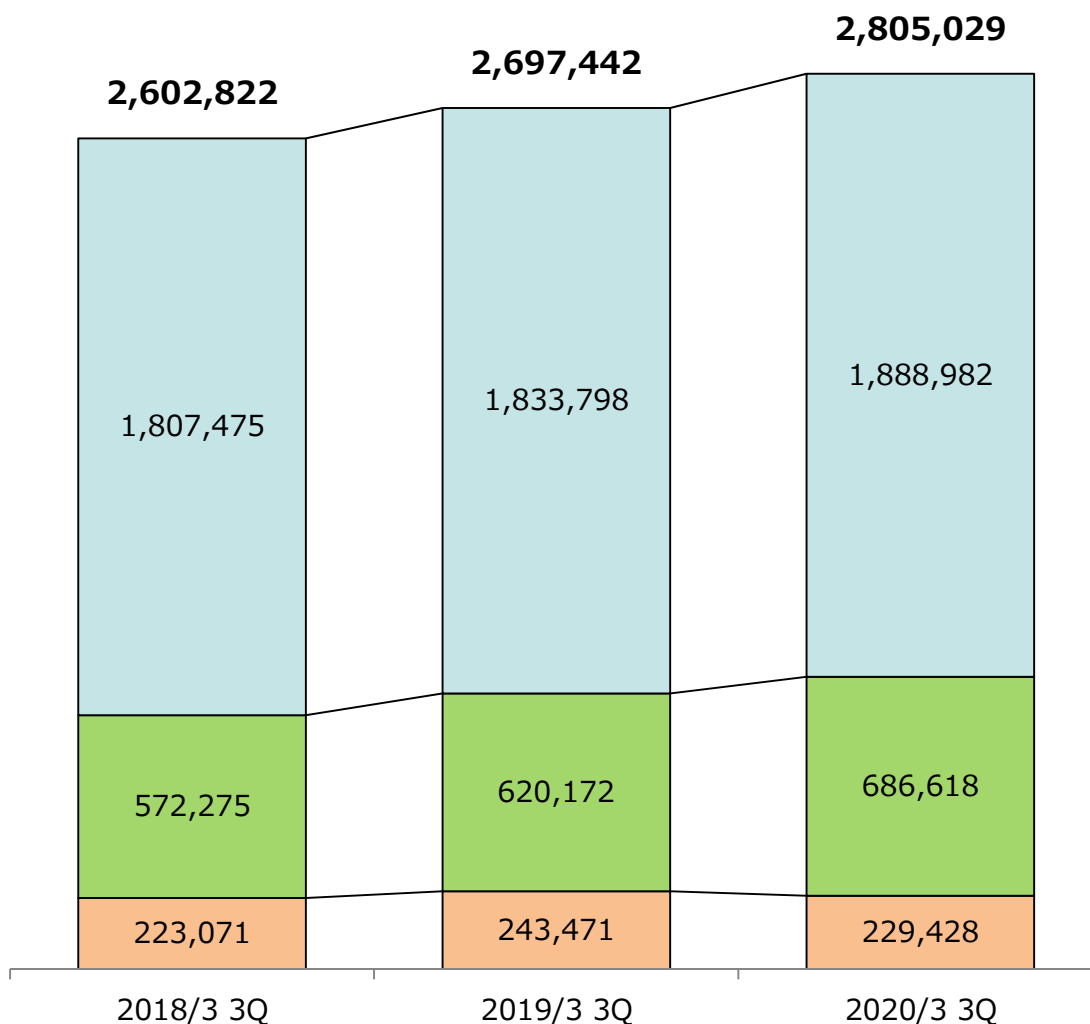
主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。
本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。
また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

(単位：千円)



別添用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・中華そば、鶏白湯ラーメンスープ
- 【内食用 ↗】
 - ・あんかけラーメンスープ、担々麺、チルド冷麺スープ、辛味噌ラーメンスープ

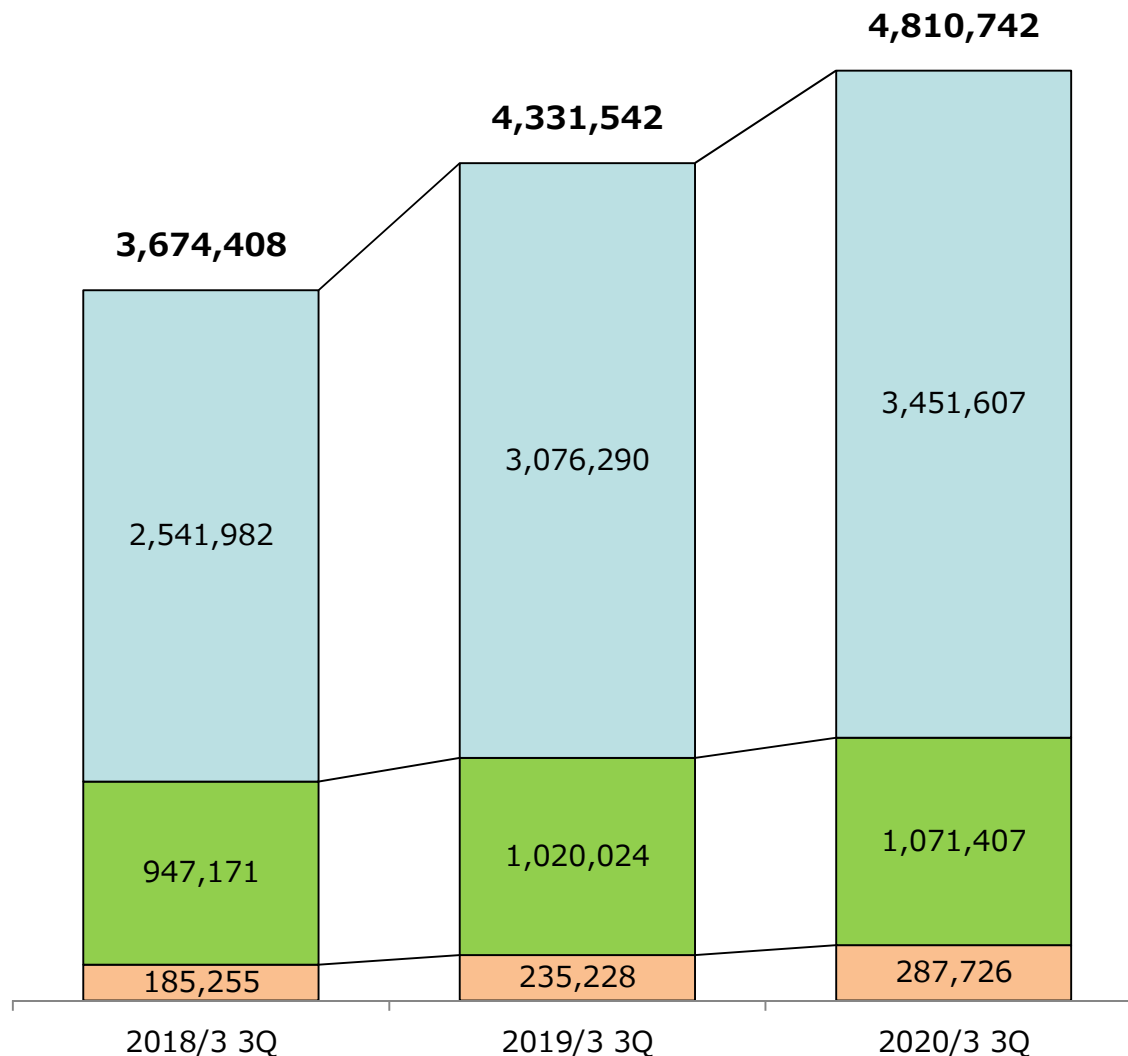
別添用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・トムヤムスープ、ボンゴレソース、麻婆豆腐の素、酢豚のたれ
- 【内食用 ↗】
 - ・ザンギのたれ、レモンステーキのたれ

別添用めんつゆ 主な増減要因

- 【中食用 ↘】
 - ・そば、うどんのつゆ

(単位：千円)



業務用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・定番ラーメンスープ（豚骨、味噌、醤油等）、冷やし担々麺、生姜醤油ラーメン
- 【中食用 ↗】
 - ・札幌醤油ラーメン、カレーラーメン、辛子香味油

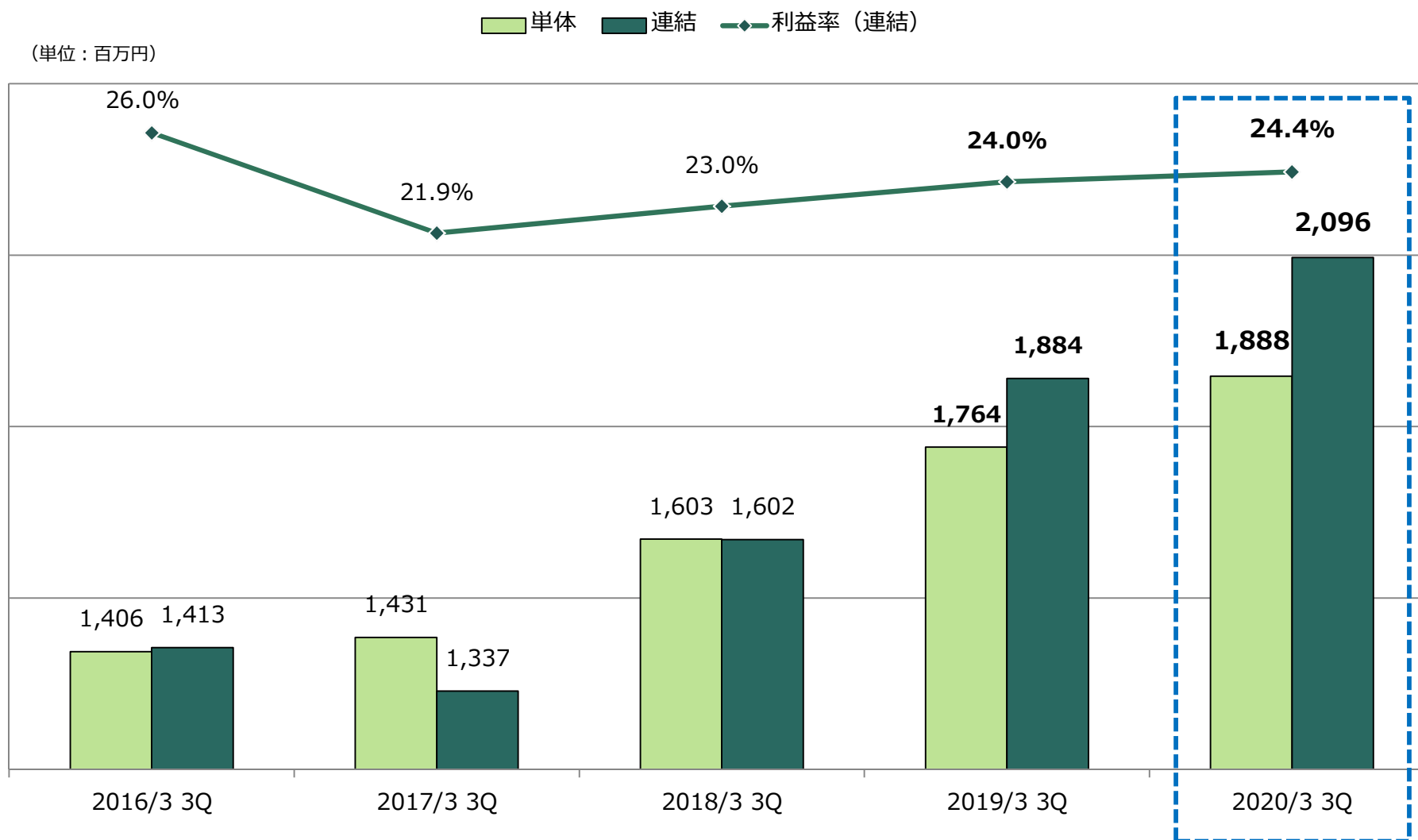
業務用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・鍋、しゃぶしゃぶ用スープ（花咲ガニ、北海道産生クリームホタテ）、おでんつゆ
- 【中食用 ↗】
 - ・おにぎり・お弁当用の鮭だし、旨味オイル

業務用畜肉・水産 主な増減要因

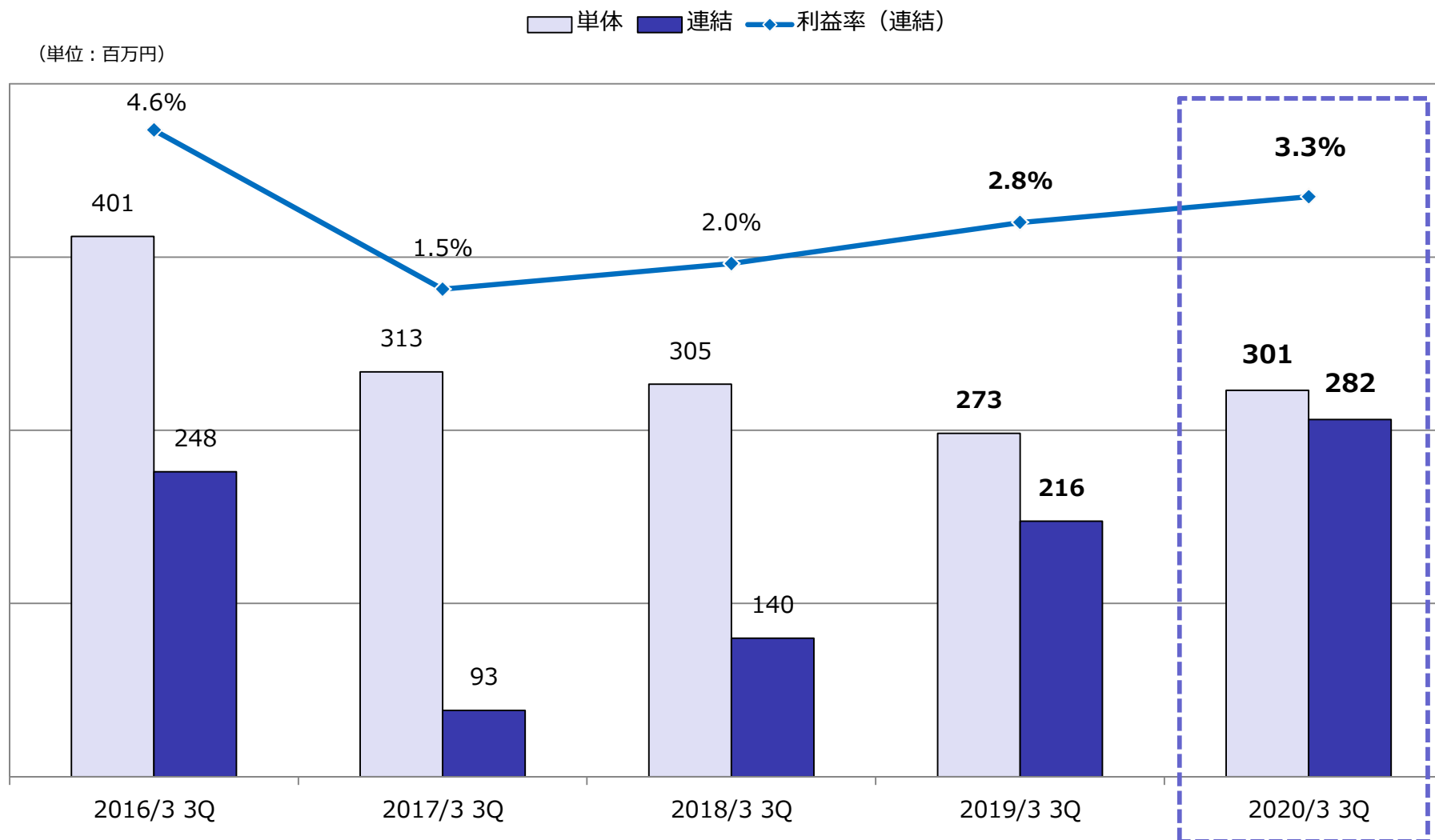
- 【外食用 ↗】
 - ・レモンたれ（焼肉のたれ）、よだれ鶏のたれ、生姜焼きのたれ、すき焼のたれ

■ 連結売上総利益率については、WAKOU USA INC.の業績向上に伴い改善が進む。



※ 2016年3月期 第2 四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

■ 連結業績については、単体利益の増益及びWAKOU USA INC.の業績向上に伴い改善へ向かう。



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

営業利益増減分析（連結）

主な増益・減益項目 (単位：千円)	2019/3 3Q		2020/3 3Q		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	1,884,928	24.0%	2,096,667	24.4%	211,739	11.2%
運送・保管費	492,615	6.3%	536,893	6.3%	44,278	9.0%
支払報酬	49,255	0.6%	92,280	1.1%	43,024	87.3%
その他販売管理費	1,126,508	8.2%	1,184,941	8.6%	58,433	5.2%
営業利益	216,549	2.8%	282,552	3.3%	66,002	30.5%

増益要因

売上総利益

: WAKOU USA INC.の業績向上に伴い利益率が改善。

減益要因

運送・保管費

: 各運送会社の運賃の値上げに伴い増加

支払報酬

: 人材紹介料（拡販活動に伴う増員等）

その他販売管理費

: 主に法定福利費、租税公課等が増加

対策

構造改革推進委員会を設置

- ・ 受注、生産体制の見直し
- ・ 運送、保管方法の見直し
- ・ 社内体制の見直し

キャッシュフローの状況（連結）

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・仕入債務の減少額 $\Delta 221$ 百万円
- ・法人税等の支払額の増加 $\Delta 24$ 百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・有形固定資産の取得 $\Delta 487$ 百万円
- ・無形固定資産の取得 $\Delta 13$ 百万円

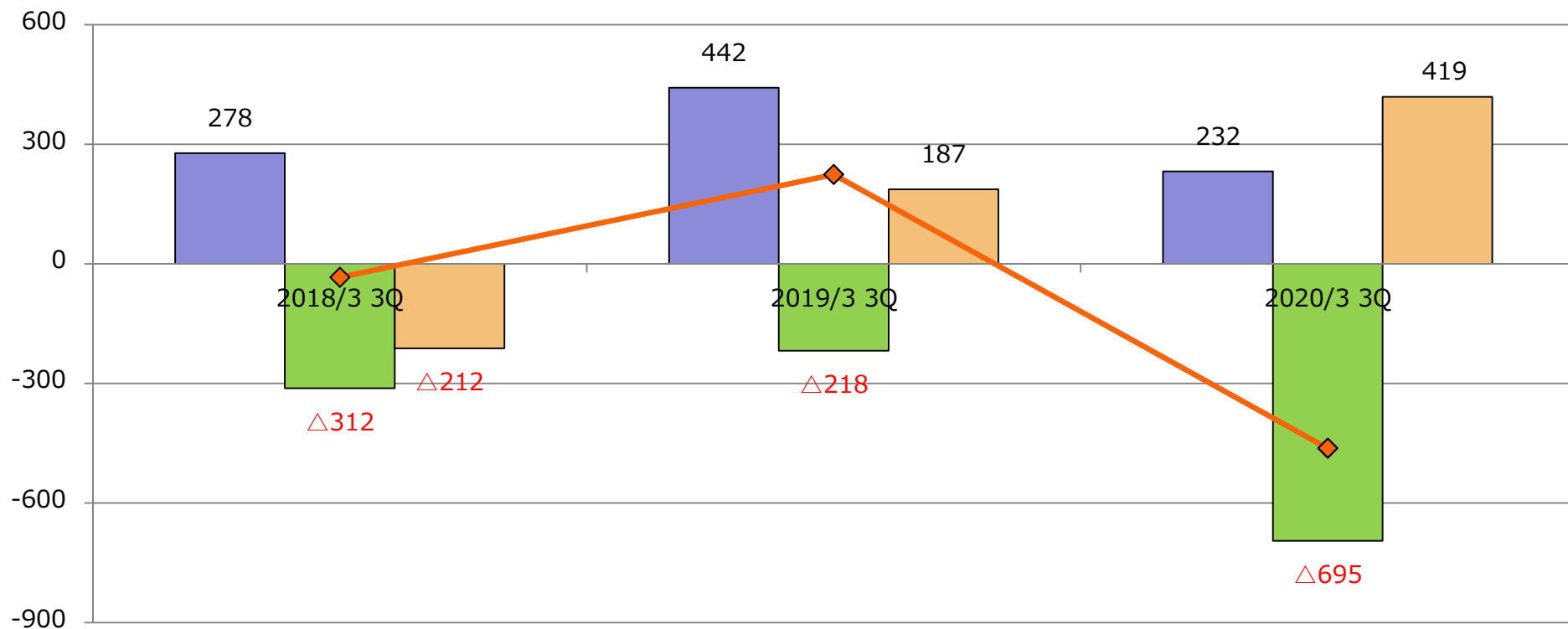
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・借入金の増加 +278百万円
- ・リース債務の返済 $\Delta 46$ 百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF

(単位：百万円)



(単位：千円)	2019/3 3Q	2020/3 3Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
設備投資額 ※1	540,008	722,061	182,053	33.7%
減価償却費	316,657	315,990	△666	△0.2%
研究開発費	147,323	161,230	13,906	9.4%
フリーキャッシュフロー ※2	223,385	△462,124	△685,510	—
有利子負債 ※3	2,199,415	2,589,085	389,670	17.7%
配当金支払額	40,934 (50円/株) <small>(効力発生日：2018年6月21日)</small>	40,934 (50円/株) <small>(効力発生日：2019年6月24日)</small>	—	—
ROE ※4	3.4%	4.4%	1.0%	—

※1 主な設備投資：建物 75,141千円（主に、屋根張り替え工事）
：土地 401,009千円（北米カリフォルニア州）

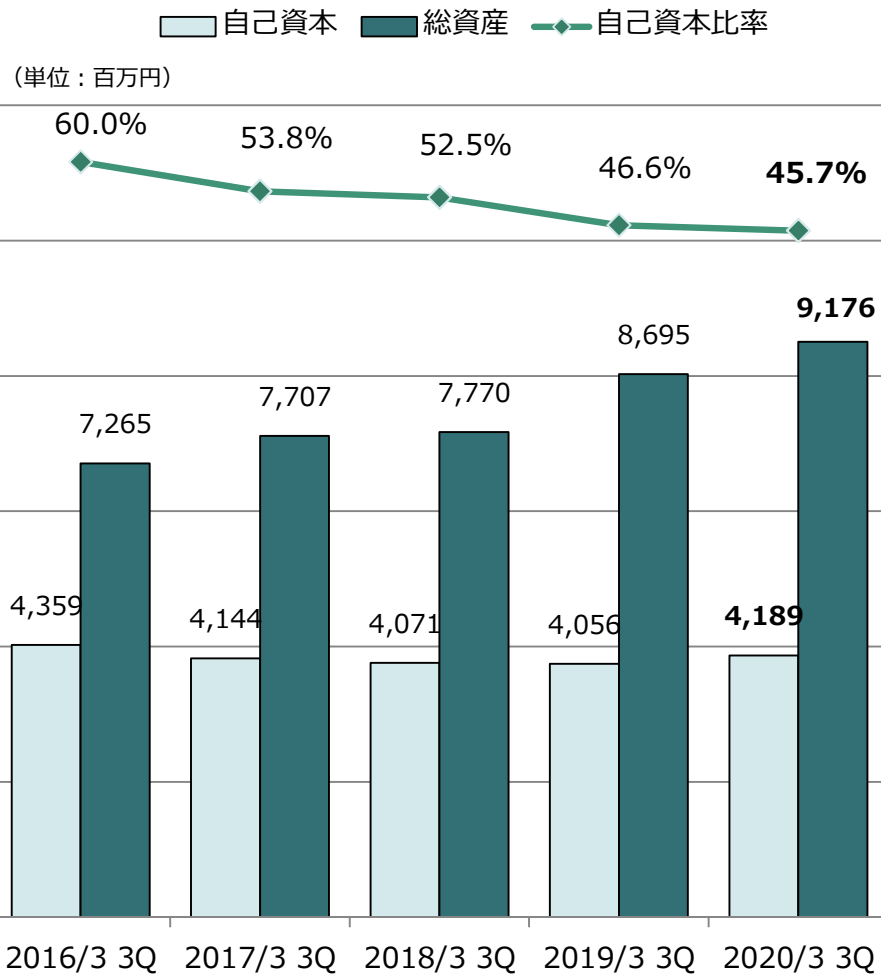
※2 国内利益の増益に伴う法人税等の増加、仕入債務の減少に伴いフリーキャッシュフローが減少。

※3 設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。

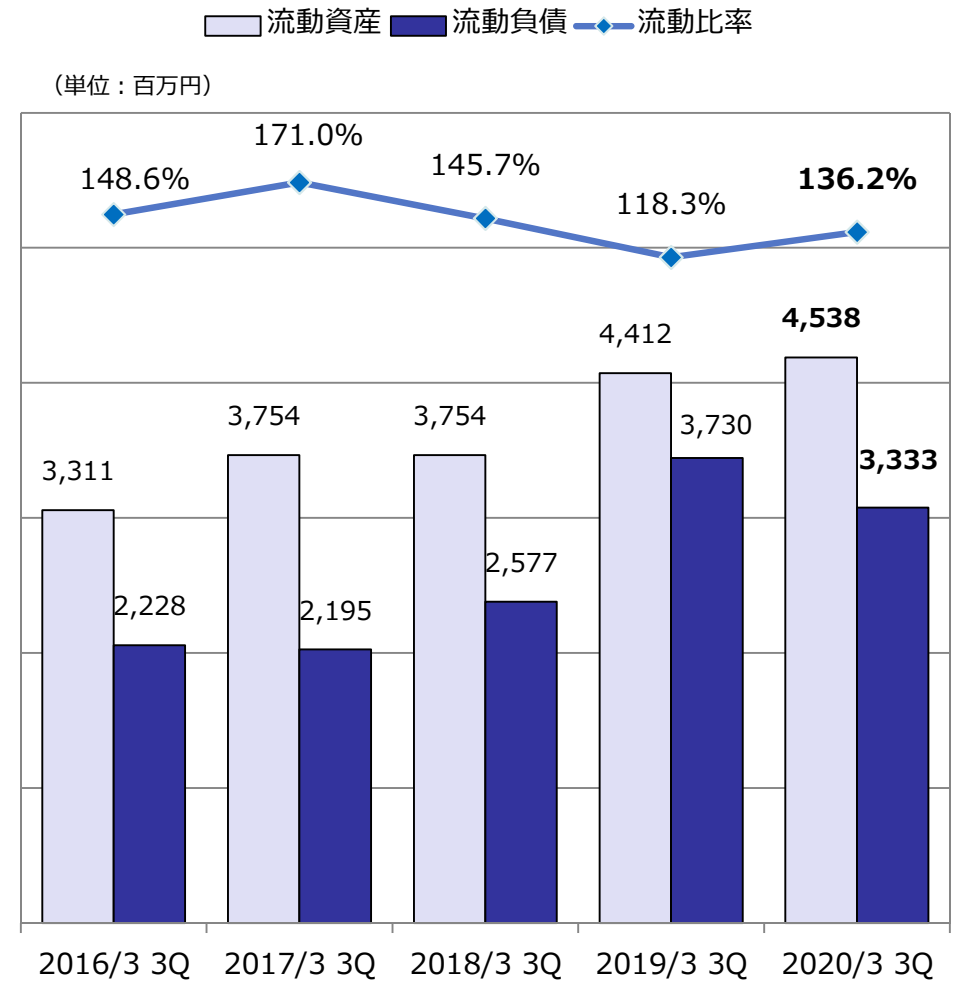
※4 四半期純利益の増加に伴い前期比較1.0%ポイント増加。

■ 設備投資に向けた借入金が増加し、自己資本比率は減少したが、今後の業績向上に伴い回復へ向かう見込み

自己資本比率の推移



流動比率の推移



1. 2020年3月期 第3四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第3四半期 トピックス（参考）

※ 業績予想に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=110円で計算しております。

2020年3月期連結業績予想

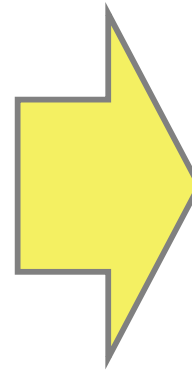
(単位：百万円)	2020年3月期 第3Q		2020年3月期業績予想		
	実績	進捗率	上期	下期	通期
売上高	8,588	79.0%	5,409	5,467	10,876
売上原価	6,492	78.6%	4,152	4,108	8,260
売上総利益	2,096	80.1%	1,257	1,359	2,616
販売管理費	1,814	78.9%	1,198	1,101	2,299
営業利益	282	89.1%	58	259	317
経常利益	288	87.5%	59	271	330
親会社株主に帰属する 当期純利益	185	70.2%	7	257	264

※ 2019年11月1日に2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（2019年5月10日公表）を修正しております。

※ 予算達成率については季節的な影響（事業の性質上、第2四半期及び第3四半に売上高が集中する傾向がございます。）を含んでおります。

市場環境

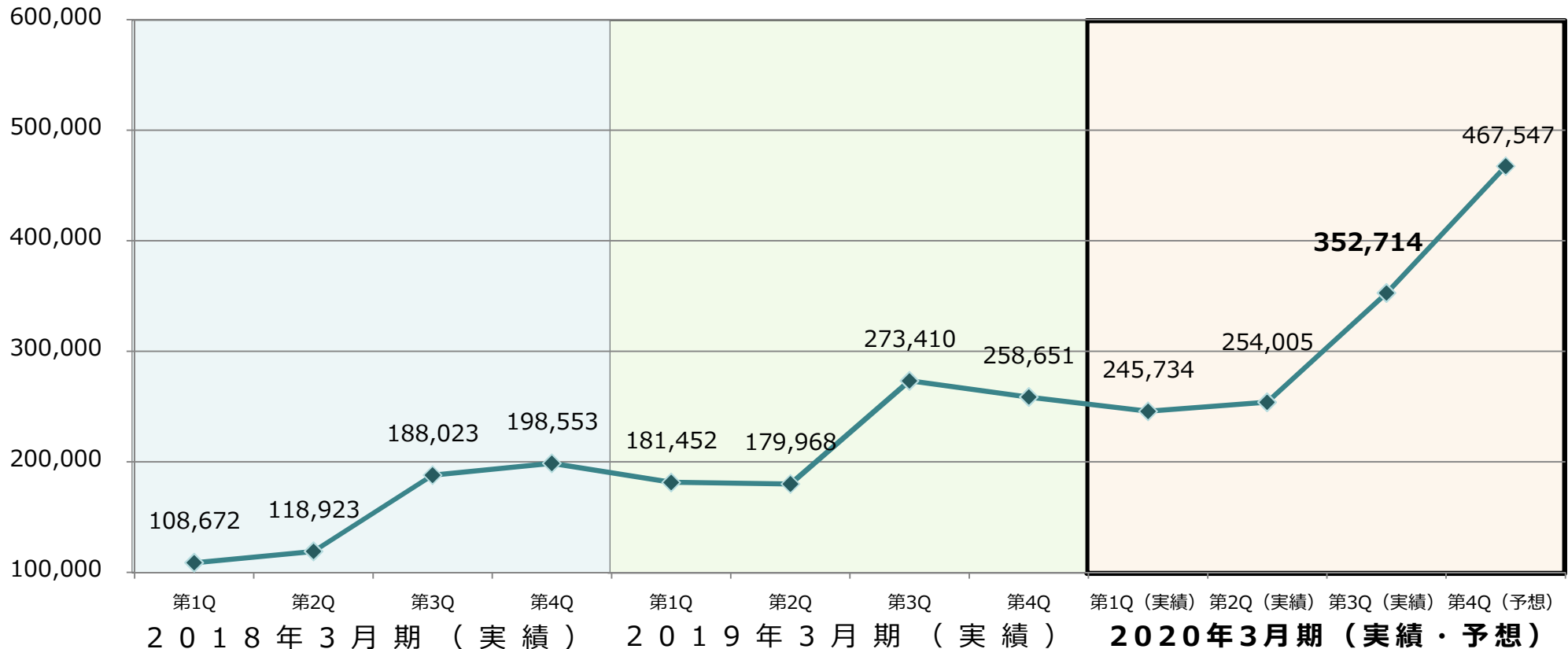
- ・日本からのラーメン専門店の進出が増加、ラーメン人口が急激に増加している
- ・SUSHI等の日本食レストランで、ラーメンのサイドメニュー化が加速している
- ・食の安心・安全からUSDA認証製品が注目されている



内部環境

- ・アメリカ国内において知名度が高まっており、現地でのラーメン産業展では非常に人気を博している
- ・今後も大口の日本食レストランからの採用件数は増加する見通し
- ・USDA認証を取得した北米でも珍しいスープ類専門工場

(単位：千円)



※ 第4Q (予想) において、予想年間売上高になるよう調整しております。

1. 2020年3月期 第3四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第3四半期 トピックス (参考)

北米においてもすっかり恒例となった、今回で3回目となるラーメン産業展に出展致しました。

日時：2019年10月6日～7日

場所：イリノイ州シカゴ市

目的：ラーメンの啓蒙活動及び新規顧客の獲得

来場者：約2,800名



2019年10月6日より2日間、北米においても毎年恒例となったラーメン産業展をイリノイ州シカゴ市において開催致しました。

毎年、現地でも大変注目を集めておりますが、今年はイリノイ州のみならず、テキサス、ニューヨーク、ロサンゼルス、シアトル等の遠方からの来場者も多く見受けられ、ラーメン人気は全米へと広がっております。

その中でもWAKOU USA INC.のブースは非常に人気を博しており、一番人気は「Taiwan Ramen」でした。

北米では、ラーメンはブームから一つの食文化として刷り込まれてきており、ラーメン市場の継続的な成長を確信させることができるイベントとなりました。

IRメールを配信し、投資家の皆様とのコミュニケーションを推進

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録の皆様にニュースメールを配信しご案内しております。メール配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけますので、是非ご利用ください。



<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=2813>

※ IR配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しております。

- ◇本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◇本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◇本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：藁谷

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp